

法政大学大学院理工学・工学研究科 紀要の書き方

1行あける
INSTRUCTIONS FOR PREPARATION OF CAMERA-READY MANUSCRIPTS
FOR BULLETIN OF GRADUATE SCIENCE AND ENGINEERING, ENGINEERING STUDIES
1行あける

10pt以上
10pt以上
法政花子
Hanako HOSEI
指導教員 指導教員氏名

1行あける
法政大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程

5文字程度あける
The Bulletin of Graduate Science and Engineering, Engineering Studies of Hosei University will be prepared from camera-ready copy received from authors. All manuscripts should be in Japanese or English. Please follow the instructions printed on this sample paper with regard to the placement of title, authors' names and affiliations as well as main text.

Key Words : Times, italic, 9pt 3,4の英文キーワード

1. はじめに

これは、法政大学大学院理工学・工学研究科紀要原稿を作成するために必要なレイアウトやフォント等の基本的な情報が記述されています。

本論文集は著者が作成したPDFファイルをそのままCD-R印刷しますので、ここに記載されている事項に従い、PDFファイル2Mb以内で作成して指導教員に提出して下さい。原稿はA4サイズ2段組、2ページ以上8ページ以内2MB以内でまとめて下さい。PDFファイルは指導教員に提出してください。

上下辺、左右辺ともマージンは2cmとします。ヘッダー、フッターは設けません。本文は(25文字+2文字+25文字)の横2段組とし、50行(行間約14.4pt)で作成して下さい。また、文字サイズは9pt以上を用いて下さい。最後のページは左右をできるだけそろえるようにして下さい。

2. タイトルページのレイアウト

(1) タイトル部

タイトル部は例のように、1段組として下さい。1ページ目の1行目のみに、例のように左右に詰めて、「法政大学大学院紀要 理工学・工学研究科編 Vol.●(●年●月)」、「法政大学」を9pt以上を用いて記入して下さい。なお、Vol.と年号を間違えないように注意して下さい。

1行あけて、タイトルを記述します。タイトルは18pt以上を用い、センタリングします。

1行あけて、英文タイトルを10pt以上、大文字、センタリングで書いて下さい。

1 1行あけて、例のように著者名を10pt以上、センタリングで書いて下さい。次の行に、10pt以上を用いて英文の著者名を書いて下さい。その次の行に、指導教員氏名を書いて下さい。

1行あけて、著者の所属を9pt以上、センタリングにより記入して下さい。

1行あけて英文概要を、9pt以上を用いて書いて下さい。このとき、左右を9pt以上で5文字程度あけるようにして下さい。次の行に3~4程度の英文キーワードを例のように、Times, 9pt, italicにより記入して下さい。'Key Words'という文字はボールドイタリック体にします。

(2) 本文部分

キーワードの後、2行あけて本文に移ります。本文は、一般ページと同じです。横2段組、50行(行間約14.4pt)、9pt以上で作成して下さい。

3. 見出し(見出しが複数行に渡る場合には、このようにインデントを付ける)

(1) 章の見出し

見出しのレベルは3段階とし、第1レベル(章)は、上に1行あけて、10pt以上により「2. 数値計算例」のように記入して下さい。

(2) 節の見出し

第2レベル(節)の見出しは前後に空白行を設けず、

下さい。

a) 項の見出し ← 9pt 以上 52
第3レベル(項)の見出しも前後に空白行を設けず、9pt 以上により「a) 項の見出し」のように記入して下さい。

4. 数式および数学記号

数式はセンタリングし、式番号はカッコ付きの通し番号で右詰として下さい。

1行あける

式番号は右詰め

$$F(x) = \frac{\sqrt{a^3}}{(a+b)} \int_{\infty}^{\infty} g(t) dt \cdot e^x \quad (34)$$

1行あける

式は中央

また、数式の前後には1行空白行を設けて下さい。

5. 図表

図表は、本文で引用した箇所に近い場所に置くことを原則とします。原稿末尾にまとめて置くことはできるだけ避けて下さい。

1行あける

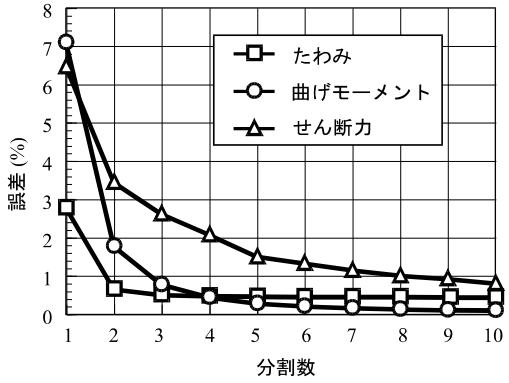


図3 図のキャプションは図の下に置く

1行あける

図表の前後には、空白行を1行設けて下さい。表のキャプションは表の上に、図のキャプションは図の下に、置いて下さい。図番号、表番号は通し番号とし、

図のキャプション
9pt 以上 中央

左右できるだけそろえる

9pt 以上で書いて下さい。英文キャプションの場合には、

Fig.3 や Table 3 などのように Times, 9pt 以上を用いて下さい。

1行あける

Table 3 Sample Table

表のキャプション
9pt 中央

No.	Case	case(Pa)
1	Abcd	123.0
2	Efg	56.7
3	Hijk	-

1行あける

6. 最終ページのレイアウト

最終ページは左右の段落ができるだけそろえるように調整して下さい。

参考文献は引用順に番号を付け、該当個所に[3]のようにカギカッコで指示してください。参考文献の引用リストは例を参考にして、文末に1行あけ、ゴシック体、9pt 以上、センタリングで「参考文献」と記入した後、番号順に記入して下さい。

謝辞：謝辞は結論の後に書いて下さい。

付録 付録の位置

付録は参考文献の前に書いて下さい。

参考文献 ←

10pt 以上

- 1) 川井忠彦, 大坪英臣: 計算理工学講演会論文集の書き方, 計算工学講演会論文集, Vol.1, pp.1-2, 2010
- 2) Yamada, Y. et al.: Plastic stress-strain matrix and its application for the solution of elasto-plastic problems by a finite element method, Int. J. of Mechanical Science, Vol.10, pp.343-354, 2009
- 3) 鷲津久一郎: 弾性学の変分原理概論, 培風館, 1992

下マージン 2.0cm